

## マダカアワビを放流しました

本校では海洋生物系列で学習する生徒がアワビ類の種苗生産を行っています。今年も昨年 11 月に受精させ、育成を開始したマダカアワビが放流できるサイズになりました。

神奈川県にはマダカアワビの他にもクロアワビ、メガイアワビ、トコブシなどが生息しています。中でもマダカアワビとクロアワビは磯焼け現象の影響もありその生息数の減少が深刻になっています。

本校では神奈川県水産技術センターや栽培漁業協会、地元の漁業協同組合の協力を得て、種苗生産を続けており、今年度も殻長 5 c m 程に成長した約 7000 個体のマダカアワビを磯場に放流することができました。

海豊かにする取り組みを今後も続けていきたいと思えます。



写真 1. カジメ場

アワビの放流場所は餌であるカジメなどの海藻が繁殖する藻場を選びます



写真 2. 放流の様子

スクーバ潜水して丁寧に岩場にアワビを付着させます。

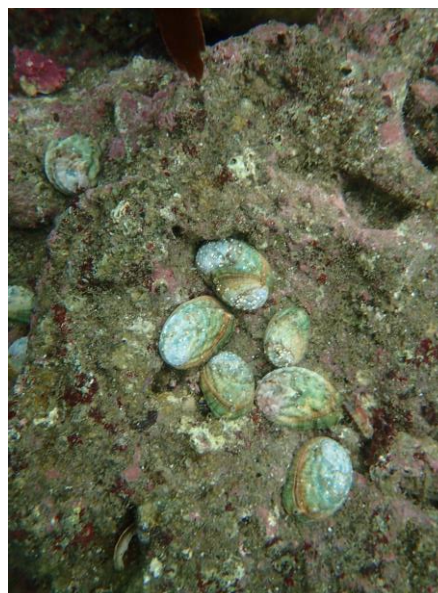


写真 3. 放流したアワビ

殻が緑色になることが種苗生産したものの特徴です。